

今年の冬は、冬らしい冬と表現する報

道もありましたが、確かにここ何年かは雪の少ない私好みの冬でした、ツケは回ってくるとか帳房は合うようになっていくとか・・・それにしても災害級の雪の降り方には閉口してしまいます。気象条件から予測はしていたものこの年も確実にやってくるとは想定外でした。年の初めから大きな地震や飛行機事故さらには大雨による被害と災害続きの一年だったと言っ印象が強かったこの年も過ぎようとしています。今日(24日)発表の長期予報では、一月は寒さが厳しい、しかしそれ以降は平年を上回る気温となり春の訪れが早まる予想とのことでした。さて私たち「大仙フレンズ」の活動を振り返って見ますと相変わらずですが、しかし確実に一歩ずつ進んでいると言っ想いを持っています。当会は、「話せる場」としての窓口と言っことを趣旨に会員一同が長年をかけて積み重ねてきた結果だっ心よりの感謝しております。そして年末恒例となりました大曲駅連絡通路の作品展示、見事に完成しております。今年のテーマは「花」彩りよく華やかに咲き誇っています。期間は一月十二日まで、是非ご覧になって心を温めて下さい!!

マイフォト「雪の秋田駒」

令和6年12月19日 10:56



仙北平野の象徴「秋田駒ヶ岳」今から六十年前、生保内線と称してSLが走っていた時代、このような景色を想像すらしませんでした。我が町を新幹線と同じ線路幅にして盛岡で連結して三百二十kmの速度で東京へ乗り換えなしで行ける時代、そんな便利さと裏腹に大曲駅で乗り換えて特急「つばさ」や夜行急行「津軽」・「おが」などで駅弁と飲み物(ビールなど)を買い込んで十時間近くかけて東京まで行った時代、便利になればなるほどそんな昔の風景を思い出します。

マイフォト一言

仙北平野の象徴「秋田駒ヶ岳」今から六十年前、生保内線と称してSLが走っていた時代、このような景色を想像すらしませんでした。我が町を新幹線と同じ線路幅にして盛岡で連結して三百二十kmの速度で東京へ乗り換えなしで行ける時代、そんな便利さと裏腹に大曲駅で乗り換えて特急「つばさ」や夜行急行「津軽」・「おが」などで駅弁と飲み物(ビールなど)を買い込んで十時間近くかけて東京まで行った時代、便利になればなるほどそんな昔の風景を思い出します。



今年の展示、ご覧になって如何でしょうか?上段でも述べましたが本当に華やかに出来上がりしました。日本海側の暗い冬が明け、春が来たよう花の世界です。

大曲駅連絡通路の展示!!

1月の交流サロン  
1月26日(日)  
「被災県の郷土料理」  
午前10時〜午後3時迄  
被災県と秋田県の郷土料理から:材料の有無により献立を決めます

ところ:はびねす大仙  
参加費五百円  
小学生以下無料

今月の「交流サロン」から

今月は、来年度の計画書の提出及び二月開催の「笑顔と元気でつながる輪V」の運営方法などについて検討を行い、方針を決議しました。来年度の開催日につきましては、今年度と同様とした、二月については次回まで献立等を決めると言っことで、イベントを実行することを報告いたします。

【今月の昼食メニュー】  
そば粉の入手に苦悩していましたが、サロン開催の数日前に自家製粉で可能となり、このサロンで試食してもらいました。

メイン:ざるそば(十割) 副菜:カキとネギのバター炒め・アボガドとたらこの和え物 漬物:大根の味噌漬け・蕪の塩昆布漬け以上でした。今回自家製粉した粉、最初からそばになるのかなと疑心暗鬼で打ちました。案の定、捏ねても捏ねても繋がらずボロボロと崩れる始末で包丁の長さだけのそばになってしまいました



見た目は、そば一ドール状!!  
実は又、そばに水が多めにしてみたりしましたが・・・あとは、粉の粒を細かくして再挑戦・・・

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇一九六七〇二八五二